

## 十日夜（とうかんや）

「とうかんやのわら鉄砲 大根なっ葉がよくとれろ」

「とうかんやのわら鉄砲 忍おしの鉄砲に負けるな」

パーン パーんと、地面にたゞきつけ音をひゞかせます。

これは、毎年11月（旧10月）10日の夜を「十日夜」と、  
いって農村地区の子供たちの楽しい行事の一つでした。

ワラを束ねて、ワラ鉄砲をつくるのですが、いゝ音がで  
るように、ワラ束の中に里芋さといもの茎を入れてつくります。

うす暗くなると、あちこちから子供たちの大声で叫び合  
う声と、地面をたゞきつける音が、にぎやかになります。

大切な農作物を食べ荒らすネズミやモグラを追い払うた  
めにこうしたことが行事になって一斉に行われたようです。

子供たちが夜おそくまで、楽しい遊びのように大声で群  
をなしてやったものです。

その晩はボタモチやあんころもちなど変わりご飯をして、  
豊作を祝う楽しい行事でした。

現在では竹を畑にたゞき込みカケヤなどで、地表に出て  
いる竹を上からたゞいて、音を地面にひゞかせてモグラ追  
いをやっているそうです。

